

# 自治会連合会報

第 5 号



## 会長就任に当たって

春日部市自治会連合会  
会長・本田上地区長

時田 美野吉

春日頃より春日部市自治会連合会の諸活動に對しまして、多大なるご支援を頂き、誠に有り難うございます。

平成九年に創刊号が発行されました当会会報の発行も本号で第五号を数えます。この間にも、当会では「春日部市地区長会」から「春日部市自治会連合会」への改称、十数にも及ぶ自治会の分割等々、社会の動きに歩調を合わせるように大小の変化を経験いたしました。そのような中で、当会が諸問題に向き合い、対処することができましたことは、ひとえに自治会加入者を含む多くの市民の皆様のご理解ご協力のお陰と重く受け止めております。

現在、自治会（地域により、「町会」、「地区」の名称を継承）への加入世帯は約五万五千戸を数え、総数百三十四にも上る各自治会はその地域性を十分に反映させながら地道な活動を継続しており、その中で地域

住民同士の意志疎通にも貢献しています。

それぞれの自治会は今日までも我々の生活の最も身近にある自治組織として大きな役割を担ってきていますが、それは単に行政との情報伝達経路としてのみならず、各地域諸事業の総合的な推進母体として機能するところにその最大の存在意義があります。私たち役員も、自治会機能の効率性が住民生活に大きく影響することを再認識しながら、社会と住民の意識の変化に敏感に對応した、新しい形の地域活動を模索して参りたいと決意を新たにしています。

常識というものの寿命が年々短くなり、多くの分野において将来の予測が難しくなる中、地域社会における問題解決や課題遂行の能力の向上、そして地域住民の結束が以前にも増して必要とされています。各自治会がその特性を活かし、各人の意思と創意工夫を加味しながら日々生じる問題に對処し、自治会機能の未知の有効性を引き出していただきたいと希望しております。そして私たちのこの共通目標を達するため、まず、自治会に既加入の皆様にはより多くの自治会活動へのご参加を、未加入の方々には、自由意志に基づいて可能な限り、ご加入いただきたいと思っております。最後に、今後とも皆様の一層のご理解、ご支援を心よりお願い申し上げます。私の会長職就任の挨拶とさせていただきます。

# 我が街の活動紹介

● 順不同 ●



## 宮川自治会

自治会長 川口 睦

我が宮川自治会は一地区一自治会です。名称を小林住宅自治会から平成十一年より宮川自治会と改名しました。現在の宮川小学校の周辺は近くにある御宮(香取神社)を真ん中にして、新方袋と南中曽根地区に分かれ香取神社の池の水は近くの川に注がれていました。神社の前を流れていた川を宮川と呼び、この付近を「宮川」と称してまいりました。この地名の由来からこの地にある我が自治会を宮川自治会としました。自治会は役員・班長で毎年交替制で行っておりそれをサポートしてくれる各クラブがあります。祭りの祭心会、MSソフト、カラオケさくら会、ゲートボール、グラウンドゴルフ、老人会ときわ会等。自治会主催の行事としては夏祭り、運動会、敬老会等が、クラブ主催ではミ

ニカラオケ発表会、餅つき大会、御花見等があります。自治会主催の行事には各クラブは全面的な協力を惜しみません。十二年度は久々に男性の自治会長・副会長で頑張っておりませんが、役員・班長は大半が女性です。各クラブの男性の協力なくしては行事を全うすることはできません。自治会とクラブは車の両輪だと思っています。特に昨年の夏祭りは、二十周年を迎えることができました。二十年前「子供達にふるさとを」をスローガンに、花で飾った樽神輿からスタートした夏祭りも、年々人も多くなり、昨年は中学生男子生徒五、六名が参加し、最後ま



夏祭り

で大人に負けず、担ぎきりました。子供神輿はもちろん大人神輿、盆踊り、屋台と本格的になり、多くの地区の皆様の応援を頂いて今も健全です。また、自治会館には多くの方の寄付で立派なカラオケセットもあり、音響も抜群です。ミニカラオケ大会も昨年は二回も開催し、多くの会員やゲストの参加でとても盛大でした。色々の会合にもカラオケを利用してはいるようです。これからの課題としては、年齢化しつつある会員のため、若い人達がこの地に定着していかにして自治会活動に参加してくれるか、喜んで参加してもらえる方向を模索しております。



## 備後須賀第三自治会

自治会長 石川 敬

私達の町は、武里と一ノ割駅の間の西側の中間地点に位置し武里小学校、消防署、農協等、西側には、武里中学校が有ります。小学校北側に隣接して七百八十余年を経た稲荷神社があり、境内には天を突く大木が遠い昔

を偲ばせています。年中参拝者が訪れ、境内での会話が町内の親睦を深めております。大祭は三月の第一日曜日で神輿渡御等もおこなわれます。昔ながらの出店が数十店、軒を連ねて並び、近郷から訪れる人々で大変な賑わいを見せております。

私達の地区は開発で人口が急増して分割する事に成った新しい自治会です。そのため、新しい住民が大勢を占めています。発足にあたり、旧会則を見直し、新しい会則に改訂いたしました。会員は三百余名です。それまで開発される度に班名を付けて来た関係で班名が飛び飛びになっており、広報等を配布する時に大変支障をきたしておりました。最近人口の増加も止まりませんでしたので、会員の賛同を頂き、班名を順序よく整理してまた、班長さんには班名入り木札を作

り、玄関等に付けて頂きましたので、広報等の配布については大変分かりやすくなりました。行事については、春のクリーンデーに併せて四名の推進委員と各班から二名づつ参加していただき、各担当区域内を掃除いたします。また、分割した自治会による連合の運動会が九月第二日曜日に行われます。その準備等は各自自治会にとって大変な仕事です。また、自治会対抗の



連合運動会

競技種目には班長さんや体育関係役員とともに優勝目指し、選手の手選考に苦労しています。運動会の昼食は会長宅で班長さんと共に手作りの食事を作り、大きな飯台でテントの中で食べ、応援者、選手、役員等、全員での昼食は大変好評です。尚、反省会は一週間後に行います。また、自主防災組織については防災課より指導を受け、指示通りの組織が出来ています。災害等に備えて色々備品等を揃えて準備しています。尚、防災訓練は毎年実施しております。年末には防犯推進委員に依る町内の見回り等を行い、安心した町づくりを努めております。また新年には会員の皆さんと共に新年の集いを行い、尚一層の親睦を深めると共に、自治会の益々の発展に努めております。

樋籠地区

地区長 石川 雅章



私たちの地区は、春日部駅より東北に約二キロ、藤の牛鳥駅より北東に約一・八キロに位置し、南に樋籠、東に柳原、西に八丁目新田地区に接し、北には田園が広がり、東西に細長い地形で世帯数百二十九戸の地区です。地区のほぼ中央に市内四番目の県立高校として昭和五十二年に開校した春日部東高等学校があります。当地区内で一番大きな建物ですので、当地の目印となっています。

それでは、地区の年間行事を紹介いたします。一月、定期総会と新年懇親会（第三日曜日）二月、白山神社（氏神）の祭礼（全戸対象）と初午（当番組）三月、十日念仏、百万遍（榛名神社の辻札を地区境に立てる。無病息災、悪病が地区に入っていないように、また、五穀豊饒を祈願する）、また、「歩こう会」（全戸対象）を実施。五月、春日部市クリーン作戦参加（全戸対

象）。七月、白山神社祭礼（当番組）。十月、幸松地区体育祭参加、高齢者昼食会（七十五才以上の方、婦人会の手料理あり）。十一月、幸松地区ゴミ拾い参加、旅行会（日帰りのバス旅行）。十二月、白山神社しめ飾り、清掃作業（当番組）、防災訓練実施（応急手当、煙体験等）。以上が主な行事です。次に地区役員等は、正副地区長、会計・監査各一名、組長（九組）、それに顧問



消火訓練

（四名）で毎月一回の定例会を開催し、行事や諸問題について話し合い、意思の疎通を図っています。集会所及びその周辺の清掃を毎月一回、組当番制で実施しています。これが、案外組内のコミュニケーション増進になっているようです。

これからも、会員の融和と親睦、連帯意識の高揚を図りなが

ら、住みよい地区にしていきたいと思います。今後とも地区の皆様との協力と関係機関等のご指導ご支援をお願い申し上げます。



笑顔の多い  
自治会を目指して  
銚子口自治会

自治会長 岡安 攝郎

私達の自治会を紹介します。名称を平成十一年より地区から自治会に変更したところです。豊野地区の中央に位置し、地域の中心の北東に県道牛鳥松伏線が走っております。戸数二百八十六、人口約一千五十名、緑の多い市街化調整区域です。豊野地区の中心から小中学校、公民館、駐在所、農協、スポーツが楽しめる運動場があり、娯楽を

楽しめる市管理の憩いの家もあり、近くには南北に国道四号があり、行政面その他大変便利な所です。

では、当自治会の年間行事並びに活動を紹介します。一月、自治会新年会、神社例大祭。三

月、豊野地区スポーツフェスティバル。四月、自治会総会。五月、春日部クリーン作戦参加。七月、神社例大祭、納涼祭。十月、地区体育祭、神社例大祭。以上が全員参加の主な行事です。では自治会の役員構成を紹介致します。会長四名の内、正副会長二名ずつ、会計二名、会計監査二名。正副組長各四名。青年部二名、婦人部二名。以上の構成で運営しております。

銚子口自治会が誇りにしたいものとして、年三回行われる春日部市の無形文化財に指定されており、郷土芸能の獅子舞があります。この獅子舞は元禄十年に越谷市下間久里より伝受され、三百年の永い間、子孫に代々受け継がれ今日に至っております。一月は新年を祝い家内

安全、本年も良い年でありますように、七月は悪魔払い、疫病払い、そして作物が豊作でありますように、十月は今年も豊作でしたと感謝を祈り、神社境内にて盛大に奉納されます。

銚子口獅子舞を誇りたい由来がもう一つあります。昭和四年に、現在の内閣総理大臣官邸の新築落成の祝典に招かれ、当時の田中義一閣下、国務大臣、警視總監その他大勢の大臣の方々の前でご披露したところ、雄大勇壮、男性的な舞をご覧になり、大変素晴らしいとお誉めいただき、そして謝礼金として当時で百円を戴き、神社内に大きな額に記録し神社内に保存してあります。この様に由緒ある獅子舞ですので、関係者、役員が一丸となって後世に伝えるため努力しております。ぜひ一度おいで下さい。

以上、当自治会を紹介させていただきました。今後も会員相互の親睦を深め、笑顔の多い自治会を目標に努めて行きたいと思っております。会員の皆様のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。



獅子舞





### 花積地区

地区長 齋藤千松

花積地区は、東武野田線が横断しており、豊春駅と東岩槻駅のほぼ中間地点にあり、東には道口蛭田、南西には東岩槻、北には岩槻市徳力があり、三方が岩槻に囲まれ、海拔十六メートルの高台の緑豊かな環境に恵まれた所もあります。東武自治会の区域は、昭和三十年の後半から、春日部駅の西口の区画整理事業によって、住吉山の土砂が埋立に使用され山の跡が東武自治会、県公社、市営住宅となっており、現在では、二百四十余の世帯が居住する地区です。高台の所には、二の宮神社、東西寺、さくら霊園、花積貝塚、花積丘の教会(道口蛭田分)があります。

珠を回し、厄病除として祈願します。全戸を回り終えると村境の用水堀の中に鉦と数珠を放り出して清めます。現在は、集会所で数珠を回しながら「ナイダー、ナイダー」と唱えて懇親会に入ります。

二の宮神社の祭典は七月二十日祭礼の年一回だけの奉納であり、これに先立って、七月十四日、宮籬とい境内の清掃をしていきましたが、現在は、三自治会が回り番で月一回の清掃を行っております。祭典は二十日の午後一時から祈願奉納され、その後は集会所に席を移して、直会を兼ね、祝宴を催しております。

体育祭には役員さんを始め、学校関係者の方々の、選手選考から本番に備えて準備までのご苦労がございますが反省会が楽しみです。



もちつき大会

暮れには神社境内と集会所の大掃除を三自治会で実施し、神社の世話人さんには、しめ縄、お飾りの奉納をしています。

花積集会所は平成七年に神社の敷地を借用して集会所(二十八坪)の建て替えをいたし、八年の三月に落成式を行う事ができました。この時に、もちつき大会を行って地域の親睦を図り今年で六回を迎える事になりました。今回は、餅つき、豚汁、カラオケ大会、昔の遊びコーナーを設けて、お父さん、お母さん子供さんが拳玉、ベイゴマ、お手玉、おはじき、木ゴマ、ビー玉、竹馬で昔を思い出して、楽しく明るく輪を広げてもらいたいと計画しているところです。また、子供会では、花火大会、古紙の回収をして、収益金を作っております。春のクリーンデーについても、全軒参加でお願いをしています。

名所といたしましては、「花積下層式土器」の出土した花積貝塚があります。年間を通しての行事がたくさんございますが、地域住民が輪になって取り組み、親睦を図りながら楽しく明るい地域にして行きたいと頑張っております。今後ともご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



### 栄町一丁目町会

町会長 渡辺輝夫

私達の街、栄町一丁目は内牧地区の区画整理事業によって出来た新しい街です。私がこの街に引っ越してきた時は、自宅の回りは田んぼばかりでこの辺りからも工業団地が良く見えまして。道路は砂利道。もちろんバスなど通っていません。夏、家の田んぼでは蛭が飛び交い、網戸には歌いながらへばりつく、蛙の姿。とてもなつかしく見えます。冬、ペランダから見える白い帽子をかぶった富士の山。寒さも忘れ長々と見ていたものでした。今では見ることができず、ちよっぴり淋しい気がします。商店街も自治会もなく、行政的な事は内牧一区の区長さんにお世話になり、広報紙や回覧等を届けてもらってました。



もちつき大会

それだけ住宅が少なかったのです。あれから二十五年が過ぎ、現在は六百世帯。家の周りの田んぼは無くなってしまいました。が、道路は舗装されバスも通る様になり、商店街も増えて買い物も便利になりました。町会では、新年会、栄町公園で行われる盆踊り大会、運動会日帰りのバス旅行、冬の火の用心、もちつき大会等々。たくさん行事が出来る迄になりました。これも街の一人一人の協力によってのことだと思います。これからも栄町一丁目を愛し、子供達、お年寄り、住民の方々のために住み良い街づくりを心掛けていきたいと思えます。





備後下地区

地区長 上原光孝

私の地区は武里地区内の東の端を南北に縦断している四号国道の両側と備後東五丁目が区域であり殆どが調整区域であります。従って農地が殆どで道路も全く整備がされていない昔ながらの農村地帯です。戸数は百十五戸と大変少なくその中には建御雷神社(通称雷神神社)と称名寺があります。

今から三十一年前の昭和四十五年に新都市計画法が施行され国道の西側は全部市街化区域に編入され東急ニュータウンと国道の間の田圃は見る見る内に住宅で埋め尽くされました。六十戸の備後下地区も一千戸程に膨張いたしました。当時の地区長は、止むを得ず備後下地域として新住民の面倒をみてきましたがとてもやりきれなくなり、六つ地域に分割し、それぞれに自治会長をおきました。



地区体育祭

それ以来二十五年間、連合体の形で備後下地区として市の方は認めて頂き、私も二十有余年間、地区長として務めて参りました。その間に正善小学校が建設され、武里東公民館も出来ました。しかし、年数も経ち、新住民も成熟して参り、平成九年に各自治会の独立の要望が強くなり、連合体の解体が余儀なくされ、現在の五地区に分割され現在に至っています。従って、私は昔ながらの小さな自治会の会長を仰せつかることになりました。五自治会は地区体育祭や納涼祭には一緒に一致団結してやっております。各自治会の活動も以前より活発に行っております。自治会の適正戸数は二百から三百戸かなとも思われました。私たちの自治会は昔からの伝統を維持しながらコミュニケーションを進めて行き、自治会会員の円満な運営が最高の目標である

うと思います。私達の自治会には雷電会館という集会所があります。雷電神社の土地をお借りして約百戸の会員より募金を募り市の助成金二百万円とにより昭和五十六年に建設した建物であります。氏が殆どなので神社の土地や施設を有効に活用しながら自治会と両立させて行きたいと考えており、また、実行しております。春日部市の行政の中のいろいろの部門に対して協力しながら、末端の自治会活動を続けていきたいと思っております。



春日町町会

町会長 秋山照次

我が春日町は春日部駅東口近くの一面に所在し、昭和二年四月に上町から独立して春日の名を冠し、小さいながらも平和で和やかな町内を営んで参りました。平成に至り都市開発の進展と共に町内の中心であった神明神社の移転「毎年十二月十四日には酉の市で賑わう、又、お



神輿改修完成記念

め市としても馴染まれ今日盛況である。更には、山中観音堂も都市計画により、立ち退きを余儀なくされ現在地。上町地先に、移転「山中千手観音」は、粕壁山中という所に祀られ多くの人々に親しまれていた。そして今日は家内安全の観音様としても参拝する人も多い、毎月十七日が縁日になっている、又、春日町の生き字びきともなれる方々の転居も余儀なくされたとも推察されると同時に、駅前道路の整備に伴い、ビル、高級マンション等の建設が隣接する上町・仲町町会さん含め急速に進み近年の町の変貌は目を瞠るものがあります。このまま推移しますと、かつての春日町の姿は遠からず消へ去ってしまうものと憂慮され、時代の流れとはいえ、せっかく先人、先輩が築いたこ

の春日町の歴史が忘れ去られるのが誠に残念に思い、春日町のルーツを後世に残す為に、我が町内会の長老現在相談役安孫子光氏編纂委員長に依って春日町史を完成させ平成六年七月発刊、全町内会員に配布致し、本会のルーツを知る貴重な資料とし永久に残されるものと確信しております。以上、春日町の生い立ちについては、町史の引用と不肖秋山の拙い忝意書であります。さて、現況は我が町会会員戸数百十戸、新住民未加入の方、推定六十戸位、ともあれ町会の運営は小さいながら和やかな町造りの基本を大切に概ね会則に基づいて行っております。事業目的に、文化、体育、衛生、防犯、防災、資源回収、補導育成会等々と、欲が深い、各々担当の方々の積極的協力に感謝しているところですが、町内会老若男女各部活に依って町内会全体のコミュニケーション推進の場となる事を念願しております。

会員の構成は、本会の会員は春日町に居住又は業を営む者とすると定義してありますが強制的でなく任意ですが私くは新住民の皆様方にこの歴史ある町内会の輪に加わって頂き、喜怒哀楽を共に、更なる春日町の発展を念頭に考へています。



### 一ノ割新田大沼地区 地区長 内田 勝康

私が地区長を仰せつかる一ノ割新田大沼地区は世帯数九百八十戸を有する春日部市内でも大きな方の地区であろうと思えます。

約四十年前、私が高校を卒業した頃は、地区内はほとんど田であり、戸数も約四十戸程の閑な田園地帯でありました。市庁舎、市立病院が現在地に移り昭和四十六年に春日部駅西口が開設され、西口一帯の区画整理事業で地区の大半を占める地域が大沼と名を変え、優良な住宅地と変わり、現在では殆ど農地も見受けられなくなりました。地区の組織は一組から六組まであり、地区長一名、組長六名、班長九十八名で運営されており、一組だけが市街化調整区域内にあり、二組から六組までは区画整理地内にあります。人口形態としては大半が昭和五十年代後半から六十年代、平成にかけて転入された人々で、早い人で定年を迎えたと言う人もいて若い

年代の多い地区であります。また転入してきた人が自分の住所に一ノ割の名称が無く、始めは、何で町会は一ノ割なのかと戸惑う方も多くいました。町会運営については、区画整理前の一ノ割全体（駅周辺の本田第一地区、本田第二地区、本田第三地区、会ノ堀川と大池通り間の根耕地それに新田大沼地区）で一ノ割町会として連合体を形成し、地区長五名、組長十八名にて運営し会計も町会一本のため、新田大沼地区としての予算等は無く、ちよつと変形した地区組織であります。五地区の連合体の一ノ割町会は約二千九百世帯と大変大きな町会です。町会組織の中に協力団として、婦人部・長寿会・子供会等があり、夏祭り・体育祭・防災訓練その他の行事に活動していただいております、特にコミュニティ推進のための夏



夏祭り

祭りに、大勢の方々の参加が頂き盛大に開催されております。また、地域防災推進のため、早くから自主防災組織を編成し防災器具の整備意識の向上に努めております。

大きな事は良い事だと良く言われますが、先人の地区役員さんが「船頭おおくして船山に登る」と言われるように町会は分割するべきで無い、組織をしっかり作り一ノ割地区は一つの孝が今でも受け継がれ五地区が一つの町会としてしっかりと手を結び一ノ割の地域作りに頑張つて参りたいと思っております。

### 赤沼地区

#### 地区長 森田 多尚



私達の赤沼地区は、春日部市の東に位置し、古利根川と庄内古川に挟まれ、越谷市、松伏町庄和町に囲まれた世帯数四百軒の農業振興地域です。

毎年の行事としては、正月の元旦祭があり、甘酒をサーブしています。正月三ヶ日が過ぎ

た第一日曜日には、御歩射があり四月に新一年生となる男女のお子さん達と御両親が神主さんから御払いを受けます。氏子総代会、地区役員会、若宮会、神社当番の人達も一緒にお祝いします。また、伝統ある獅子舞は七月と十月の十五日に近い日曜日、盛大に行われております。史績としては由緒ある、常楽寺があり、境内には重要文化財の六角堂があります。

地域の人達で防災パトロールをしています。地区の行事としては、七月に納涼祭があり地域住民が親睦を図ることを目的として、また、子供達のふるさととして良い思い出となるよう、また、女性の人達には、楽しいふれあいの場として、踊っていただければと思っています。十月には、地域は自分達で守るという事で毎年防災訓練をしています。十一月には七十五才以上の方達を招待し、ふれあいお食事会を開いています。地元の人達による民謡民舞、新舞踊、カラオケと発表し、大変喜ばれています。また、地区の軽スポーツ大会もあり、中でも去年から始めたグランドゴルフが人気を呼び、高齢者の生涯スポーツとして会員百二十余名のクラブ組織になりました。毎週楽しんでいます。



ふれあいお食事会

環境面では、クリーン推進員を中心として、年二回の地区内清掃と年三回の古利根川沿いの清掃があります。地域も大変きれいになってきました。また、年末には防犯パトロールをしています。今後は防災防犯を含めた新しい組織を作り活動していきたいと思っています。

赤沼には若い人達を中心に地域を考える会があり、隔月に会合を開いています。地域の街おこし、専用のグランドゴルフ場づくり、またバス停には市の広報・地域の情報等を掲示する、屋根付きの駐輪場の設置等々、地域の人達が住んでよかったと思える様、地区役員、地域の人達の御協力を得ながら頑張っていきたいと思っております。





### 我が町会の歩み 八丁目新田地区

地区長 栗原 貫一

私達の八丁目新田地区は、春日部駅東口前通り国道四号線を渡った右側に位置し、中央には旧倉松川が流れ、川を挟んで市街化区域と調整区域に分かれています。春日部市に合併する以前は、村役場や火の見櫓等があり、歴史ある幸松小学校（後に移転）と共に旧幸松村の中心部でありました。

昭和四十年頃までは稲作を主とした農業農家九軒ばかりの静かな田園地帯でした。後に県立養護学校、旧倉松公園等の公共施設ができ、住宅も増加しました。市街化が進むと共に種々の問題も増えてきています。特に駅前通り開通に伴い、急速に大型スーパーや店舗、住宅ができ、便利になった反面、交通が激しく、事故も多く発生するようになり、行政と関係地区の協力のもとに信号機を設置、カーブミラー、街路灯の増設、貯水槽等をも設置していただき、住環境も悉く整って参りました。

我が八丁目地区にある八坂香取稲荷社には和算家栗原伝三郎氏の記念碑があり、算額が東福寺と市の郷土資料館に飾られています。夏の祭礼には、毎年町内六地区に神酒所が設けられ、内安全、五穀豊饒、商売繁盛等を祈願し、御輿の渡行が盛大に行われ、各地区あげて迎え、御神酒等の接待をします。当地の誇る千貫御輿は市民夏祭りパレードにも参加しています。元旦祭にも近遠から多くの若衆が集まり御輿を担ぎ、境内では豚汁や甘酒を振る舞い、参拝者始め大勢の人々が賑わいます。地区の主な行事は、○春秋のクリーナー実施、○古利根川清掃参加、○市民夏祭り、○幸松地区体育祭、○幸松地区文化祭、○子供会、○地区少年ソフトボール協力、○青年会、○親睦旅行、○防災訓練等です。役員会については必要に応じ、随時行つて



親睦旅行

います。地区の当面の課題は集会所の建設です。会員の協力の下に建設資金の積み立てをして準備を進めているところです。今後とも皆様のご指導とご支援、ご協力をお願い申し上げます。



### 八木崎地区

地区長 小嶋 茂

私達の町会は、田園広がる地域の二十数軒の方々と作られた組合が前身で、現在約八百世帯の会員家族で活動しています。地区は、平成七年、国道十六号線浜川戸交差点東南に延びるハクレン通りの両側（幅約二百から五百メートル）に位置し、九百メートル先の会之堀川に至る地域と八木崎小学校前の一地区が当町会です（九区五十五組合）。

町会内を三つに見ますと、一つは国道十六号と東武野田線の間で区名に北（二区十三組合、会員約百四十世帯）を呼称。主な公共施設・機関は、浜川戸第二公園地区の玄関口八木崎駅があり駅から徒歩約一分、春日部

高等学校があります。二つは、東武野田線と県道春日部岩槻線の間で、東と中（三区十四組合、会員百九十世帯）を呼称。県営八木崎団地、八木崎公園、中央公民館があり、駅から二分です。三つは、県道と会之堀川の間などの処で南と西（四区二十八組合、会員四百七十世帯）を呼称。

この地区には中央町第五公園、区画整理記念館、地方合同庁舎（法務局他）、総合福祉センター（あしすと春日部）、八木崎小学校があり駅から十五分以内。以上、当地区には、多くの公共機関が駅から近い処にあり、これも市当局のご尽力と地主地元のご協力の賜物で、私達市民の貴い財産です。是非有効利用を。

町会には、長寿会、婦人会、農事組合、商工振興会、育成会、子供会などの各種団体があり、それぞれ会長を中心に活発な活動が行われています。町会最大の行事は、夏祭りです。昔は手作り神輿や業者から借り受けた神輿での参加など変遷を経て、昭和六十一年、先人のご尽力により、大人神輿と子供神輿を新調して頂き、山車とともに継承しています。毎年全会員の協力の下、子供達の引く山車を先頭に神輿の町内渡御、また、パレードへの参加には、多くの同志の力強い応援の下、



毎朝おはよう会

大人も子供もよき経験、思い出を重ねております。その他盆踊り大会、子供ソフトボールや相撲大会、地区体育祭、駅前を会場にした七夕祭り餅つき大会、福引きなど年々盛況裡に行われています。なお、商工振興会推進の「あつたかタウン八木崎」は、地域全体に反映したい事柄で、町会のモットーにもなっています。

継続した活動には、毎月第四日曜日資源回収があります（育成会、各公園他拠点。毎朝おはよう会（午前六時三十分ラジオ体操、八木崎公園）と環境美化活動の推進（八木崎駅周辺と八木崎公園など）です。

また、近くには、春日部八幡神社、春日部稲荷神社、雷電社が鎮座し、宮本町・浜川戸町会氏子の方々と共に、ご加護を頂きながら、氏子会を継承しております。

## 《幸松地区の紹介》

幸松地区は市の北東部に位置する田園風景豊かな地域です。地区内を国道の4号線と16号線が通る道路交通の要衝でもあり、今後、宅地の整備とともに人口増が見込まれる地域です。東部食品卸売市場は近隣住民のみならず多くの市民に親しまれており、また、平成18年度の竣工を目指して工事中の首都圏外郭放水路は、完成後の通水効果に大きな期待が寄せられています。さらに、平成12年には小淵において立体交差点が完成したほか、新町橋の架け換え工事も進んでおり、共に交通問題解消に寄与するものと期待されています。

歴史的には、江戸時代、日光街道の粕壁宿から北への通過点、関宿方面への分岐点として知られており、地区内には「道しるべ」と呼ばれた道路標識が多く立てられ、今もその幾つかを見つけることができます。また、「浄春院」や「観音院」等の仏閣、「不動院野の神楽」といった無形文化財なども多数現存しています。自然遺産としては樹齢千年以上を誇る「牛島の藤」が国の特別天然記念物に指定されています。東武野田線藤の牛島駅からまもなく、県道春日部・松伏線沿いにあり、花の満開の時期には例年多くの見物人で賑わっています。

### 《幸松地区自治会連合会》 (23組織、順不同)

八丁目新町地区	八丁目上組地区	八丁目新仲町地区	八丁目下組地区
八丁目新田地区	八丁目五丁田地区	小淵松河町地区	小淵追分地区
小淵本村地区	小淵観音前地区	小淵原前地区	島自治会
東不動院野地区	西不動院野地区	樋籠地区	柳原地区
向島地区	新川地区	牛島一番地区	牛島二番地区
牛島三番地区	牛島四番地区	樋堀地区	

### 《役員視察研修会報告》

去る平成12年10月6日、山梨県大月市「富浜ボランティア協議会」を視察研修いたしました。当協議会は、地域に根付いた自主的な活動を活発に展開し、「あしたの日本を創る協会」より、『ふるさとづくり振興奨励賞』を授賞されています。活動成果が表れるにつれて、各会員もより熱心に活動に打ち込んでいるとのこと。当連合会活動においても大いに参考として参りたいと思います。

#### 【富浜ボランティア協議会の活動内容】

- リサイクル活動……………アルミ缶収集 約239万個  
(換算重量：約39.7kg、平成4年6月～平成12年9月の総計)  
牛乳パック収集 約28万8千枚  
(換算重量：約9.6t、平成3年6月～平成12年9月の総計)
- 花いっぱい運動……………平成8年全国高校総体より駅広場周囲の商店街・事業所に呼びかけ、町内の清掃作業をし、年間を通して季節の花を植栽・管理。
- 配食サービス……………一人暮らしの老人を対象に週3回配食。一食200円。
- その他の活動……………福祉施設への歌詞カードの寄贈。使用済切手・テレホンカード等の収集。

年間活動報告	(平成十二年)
	四月 正副会長会議
	五月 定例総会
	七月 春のクリーンデー
	八月 地区別行政懇談会
	十月 正副会長会議
	十一月 役員視察研修会
	十一月 各地区体育祭
	十一月 加須市自治会連合会視察団訪問受入れ
	十二月 理事会
	(平成十二年)
	二月 正副会長会議
三月 研修会(講演会)	
【協力事業】	
各種募金運動、ごみ5分別収集、日赤社員・社協会員の増強等。	

編集後記	いよいよ21世紀が幕を開け、皆それぞれが夢や目標を抱いて歩み始めたことと思います。これからも「住民自治」という理想の下、皆様と一緒に歩んで参りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
------	--

編集委員氏名	(会長) 時田 美野吉 (副会長) 飯塚 一夫 (副会長) 齋藤 茂 (副会長) 上野 照信 (副会長) 板橋 光二 (副会長) 上原 光孝		
発行日	平成13年3月1日	発行者	春日部市自治会連合会
事務局	春日部市役所自治振興課	☎048-736-1111	